平成 29 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　広島県　　総務省

－ 目次 －

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立広島病院	2
-	県立安芸津病院	3
広島市	広島市民病院	4
広島市	安佐市民病院	5
広島市	舟入市民病院	6
広島市	安芸市民病院	7
広島市	リハビリテーション病院	8
呉市	公立下蒲刈病院	9
尾道市	尾道市立市民病院	10
尾道市	尾道市公立みつぎ総合病院	11
福山市	福山市民病院	12
府中市	府中市立湯が丘病院	13
府中市	想定企業会計	14
三次市	市立三次中央病院	15
庄原市	庄原市立西城市民病院	16
安芸太田町	安芸太田病院	17
北広島町	北広島町豊平病院	18
神石高原町	神石高原町立病院	19
世羅中央病院企業団	公立世羅中央病院	20

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	
病院名	県立広島病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	68,179 ㎡	指定病院の状況	救臨が　へ災地　輪
診療科数	35	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	650	87.4	88.3	85.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	55.1	54.7	68.9
感染症	-	-	-	-
計	700	85.1	85.9	84.6
平均在院日数（一般病床のみ）		11.5	12.3	11.7

設立団体の状況		
人口 (人)		2,843,990
決算規模 (千円)		887,433,102
標準財政規模 (千円)		569,977,760
財政力指数		0.61476
経常収支比率 (%)		96.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	14.2
	将来負担比率 (%)	228.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	98.1
修正医業収支金額 (千円)	21,823,730

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,266,381	1,540,505
資本勘定繰入	675,197	675,197
計	1,941,578	2,215,702

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	128.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分		決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益		24,022,672			
1 経常収益		24,021,803			
(1) 医業収益		22,090,183			
① 入院収益		15,647,697			
② 外来収益		5,890,724			
診療収入計		21,538,421			
③ その他医業収益		551,762			
(うち他会計負担金)		266,453			
(2) 医業外収益		1,931,620			
(うち国・都道府県補助金)		22,795			
(うち他会計補助・負担金)		1,274,052			
(うち長期前受金戻入)		467,398			
(うち資本費繰入収益)		-			
(3) 特別利益		869			
(うち他会計繰入金)		-			
総費用		24,441,970			
2 経常費用		23,518,320			
(1) 医業費用		22,253,642			
① 職員給与費		11,907,857	53.9	55.9	50.2
② 材料費		6,454,579	29.2	24.0	27.7
(うち薬品費)		3,163,548	14.3	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)		3,287,063	14.9	11.1	12.9
③ 減価償却費		1,139,937	5.2	9.2	8.3
④ 経費		2,615,781	11.8	23.2	20.7
(うち委託料)		1,659,470	7.5	11.2	11.4
⑤ 研究研修費		114,762			
⑥ 資産減耗費		20,726			
(2) 医業外費用		1,264,678			
(うち支払利息)		412,505	1.9	1.7	1.5
(3) 特別損失		923,650			
損益	経常損益	503,483			
	純損益	-419,298			
累積欠損金		22,748,613			
経常収支比率		102.1		98.0	99.7
医業収支比率		99.3		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率		6.4		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率		7.0		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率		6.4		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率		95.6		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	25,650,883
1 固定資産	18,388,772
(1) 有形固定資産	17,972,223
(2) 無形固定資産	16,143
(3) 投資その他の資産	400,406
2 流動資産	7,262,111
(1) 現金及び預金	2,508,404
(2) 未収金及び未収収益	4,493,244
(3) 貸倒引当金 (△)	32,294
(4) 貯蔵品	217,750
3 繰延資産	-
負債合計	26,622,752
1 固定負債	19,216,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,622,721
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	441,186
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,152,489
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,387,896
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,334,715
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	193,252
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	502,748
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,165,426
(9) 前受金及び前受収益	1,449
3 繰延収益	1,018,460
(1) 長期前受金	3,150,485
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	2,132,025
資本合計	-971,869
1 資本金	28,999,393
2 剰余金	-29,971,262
(1) 資本剰余金	624,882
(2) 利益剰余金	-30,596,144
負債・資本合計	25,650,883
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	971,869
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	
病院名	県立安芸津病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド Ｉ 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	11,654 ㎡	指定病院の状況	救　輪
診療科数	10	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	98	93.8	91.2	82.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	93.8	91.2	82.2
平均在院日数（一般病床のみ）		19.7	20.3	26.6

設立団体の状況

人口 (人)		2,843,990
決算規模 (千円)		887,433,102
標準財政規模 (千円)		569,977,760
財政力指数		0.61476
経常収支比率 (%)		96.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	14.2
	将来負担比率 (%)	228.5

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	82.9
修正医業収支金額 (千円)	1,623,121

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	320,841	324,256
資本勘定繰入	99,617	99,617
計	420,458	423,873

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	128.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,010,024			
1 経常収益	2,010,003			
(1) 医業収益	1,694,870			
① 入院収益	1,051,595			
② 外来収益	521,007			
診療収入計	1,572,602			
③ その他医業収益	122,268			
(うち他会計負担金)	71,749			
(2) 医業外収益	315,133			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	252,507			
(うち長期前受金戻入)	51,614			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	21			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,085,145			
2 経常費用	2,019,565			
(1) 医業費用	1,958,536			
① 職員給与費	1,175,635	69.4	55.9	69.4
② 材料費	299,902	17.7	24.0	17.1
(うち薬品費)	132,392	7.8	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	165,976	9.8	11.1	5.8
③ 減価償却費	101,680	6.0	9.2	11.6
④ 経費	374,708	22.1	23.2	31.2
(うち委託料)	223,648	13.2	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	4,514			
⑥ 資産減耗費	2,097			
(2) 医業外費用	61,029			
(うち支払利息)	1,553	0.1	1.7	2.1
(3) 特別損失	65,580			
損益 経常損益	-9,562			
損益 純損益	-75,121			
累積欠損金	7,847,531			
経常収支比率	99.5		98.0	98.0
医業収支比率	86.5		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	19.1		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	16.1		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	83.5		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	25,650,883
1 固定資産	18,388,772
(1) 有形固定資産	17,972,223
(2) 無形固定資産	16,143
(3) 投資その他の資産	400,406
2 流動資産	7,262,111
(1) 現金及び預金	2,508,404
(2) 未収金及び未収収益	4,493,244
(3) 貸倒引当金 (△)	32,294
(4) 貯蔵品	217,750
3 繰延資産	-
負債合計	26,622,752
1 固定負債	19,216,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,622,721
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	441,186
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,152,489
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,387,896
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,334,715
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	193,252
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	502,748
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,165,426
(9) 前受金及び前受収益	1,449
3 繰延収益	1,018,460
(1) 長期前受金	3,150,485
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	2,132,025
資本合計	-971,869
1 資本金	28,999,393
2 剰余金	-29,971,262
(1) 資本剰余金	624,882
(2) 利益剰余金	-30,596,144
負債・資本合計	25,650,883
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	971,869
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	広島市
病院名	広島市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		1,194,034
決算規模 (千円)		607,656,143
標準財政規模 (千円)		325,708,093
財政力指数		0.84
経常収支比率 (%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	13.8
	将来負担比率 (%)	199.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	29.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	401,678			
1 経常収益	401,678			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	401,678			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	401,678			
2 経常費用	401,678			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	50.2
② 材料費	-	-	24.0	27.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.9
③ 減価償却費	-	-	9.2	8.3
④ 経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.2	11.4
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	401,678			
(うち支払利息)	401,678	-	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	99.7
医業収支比率	-		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	広島市
病院名	安佐市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		1,194,034
決算規模 (千円)		607,656,143
標準財政規模 (千円)		325,708,093
財政力指数		0.84
経常収支比率 (%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	13.8
	将来負担比率 (%)	199.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	29.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,993			
1 経常収益	11,993			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	11,993			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,993			
2 経常費用	11,993			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	50.2
② 材料費	-	-	24.0	27.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.9
③ 減価償却費	-	-	9.2	8.3
④ 経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.2	11.4
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	11,993			
(うち支払利息)	11,993	-	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	99.7
医業収支比率	-		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	広島市
病院名	舟入市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		1,194,034
決算規模 (千円)		607,656,143
標準財政規模 (千円)		325,708,093
財政力指数		0.84
経常収支比率 (%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	13.8
	将来負担比率 (%)	199.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	29.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	93,052			
1 経常収益	93,052			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	93,052			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	93,052			
2 経常費用	93,052			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	59.8
② 材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
③ 減価償却費	-	-	9.2	10.4
④ 経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	93,052			
(うち支払利息)	93,052	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	96.3
医業収支比率	-		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	広島市
病院名	安芸市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,901 ㎡	指定病院の状況	救　輪
診療科数	6	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	80	91.8	91.0	90.7
療養	60	98.0	95.6	93.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	94.5	92.9	92.0
平均在院日数（一般病床のみ）		21.0	20.5	19.7

設立団体の状況

人口 (人)		1,194,034
決算規模 (千円)		607,656,143
標準財政規模 (千円)		325,708,093
財政力指数		0.84
経常収支比率 (%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	13.8
	将来負担比率 (%)	199.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	89.5
修正医業収支金額 (千円)	1,879,705

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	91,081	102,663
資本勘定繰入	86,804	101,802
計	177,885	204,465

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	29.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,131,830			
1 経常収益	2,131,643			
(1) 医業収益	1,891,745			
① 入院収益	1,357,220			
② 外来収益	447,329			
診療収入計	1,804,549			
③ その他医業収益	87,196			
(うち他会計負担金)	12,040			
(2) 医業外収益	239,898			
(うち国・都道府県補助金)	6,018			
(うち他会計補助・負担金)	90,623			
(うち長期前受金戻入)	67,066			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	187			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,131,152			
2 経常費用	2,128,770			
(1) 医業費用	2,100,739			
① 職員給与費	7,592	0.4	55.9	59.8
② 材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
③ 減価償却費	115,912	6.1	9.2	10.4
④ 経費	1,974,288	104.4	23.2	31.2
(うち委託料)	92,988	4.9	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	2,947			
(2) 医業外費用	28,031			
(うち支払利息)	28,031	1.5	1.7	1.8
(3) 特別損失	2,382			
損益 経常損益	2,873			
損益 純損益	678			
累積欠損金	554,407			
経常収支比率	100.1		98.0	96.3
医業収支比率	90.1		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.8		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	5.4		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	4.8		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	95.3		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,055,537
1 固定資産	2,658,326
(1) 有形固定資産	2,657,526
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	800
2 流動資産	397,211
(1) 現金及び預金	23,985
(2) 未収金及び未収収益	385,968
(3) 貸倒引当金 (△)	13,865
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,335,420
1 固定負債	1,583,906
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,541,997
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	41,909
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	501,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	163,393
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	310
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	180,000
(8) 未払金及び未払費用	155,355
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	250,479
(1) 長期前受金	720,810
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	470,331
資本合計	720,117
1 資本金	493,740
2 剰余金	226,377
(1) 資本剰余金	780,784
(2) 利益剰余金	-554,407
負債・資本合計	3,055,537
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	広島市
病院名	リハビリテーション病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		1,194,034
決算規模 (千円)		607,656,143
標準財政規模 (千円)		325,708,093
財政力指数		0.84
経常収支比率 (%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	13.8
	将来負担比率 (%)	199.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	29.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	64,058			
1 経常収益	64,058			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	64,058			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	64,058			
2 経常費用	64,058			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	59.8
② 材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
③ 減価償却費	-	-	9.2	10.4
④ 経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	64,058			
(うち支払利息)	64,058	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	96.3
医業収支比率	-		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	呉市
病院名	公立下蒲刈病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	2,909 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	14	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	49	82.6	82.0	96.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	82.6	82.0	96.3
平均在院日数（一般病床のみ）		36.6	37.2	46.8

設立団体の状況

人口 (人)		228,552
決算規模 (千円)		96,768,221
標準財政規模 (千円)		55,840,483
財政力指数		0.61
経常収支比率 (%)		98.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	11.0
	将来負担比率 (%)	82.1

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	71.1
修正医業収支金額 (千円)	475,620

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	153,544	161,809
資本勘定繰入	45,638	45,638
計	199,182	207,447

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	44.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	654,102			
1 経常収益	653,975			
(1) 医業収益	521,876			
① 入院収益	295,433			
② 外来収益	167,705			
診療収入計	463,138			
③ その他医業収益	58,738			
(うち他会計負担金)	46,256			
(2) 医業外収益	132,099			
(うち国・都道府県補助金)	302			
(うち他会計補助・負担金)	115,553			
(うち長期前受金戻入)	9,651			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	127			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	685,109			
2 経常費用	684,839			
(1) 医業費用	669,291			
① 職員給与費	464,161	88.9	55.9	79.3
② 材料費	36,002	6.9	24.0	16.1
(うち薬品費)	22,589	4.3	12.4	10.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,347	2.6	11.1	5.0
③ 減価償却費	46,705	8.9	9.2	13.7
④ 経費	120,459	23.1	23.2	42.9
(うち委託料)	84,233	16.1	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	1,017			
⑥ 資産減耗費	947			
(2) 医業外費用	15,548			
(うち支払利息)	3,296	0.6	1.7	1.5
(3) 特別損失	270			
損益 経常損益	-30,864			
損益 純損益	-31,007			
累積欠損金	234,551			
経常収支比率	95.5		98.0	95.6
医業収支比率	78.0		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	24.7		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	31.0		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	24.7		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	71.9		85.9	63.7

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	901,769
1 固定資産	667,781
(1) 有形固定資産	663,701
(2) 無形固定資産	171
(3) 投資その他の資産	3,909
2 流動資産	233,988
(1) 現金及び預金	160,060
(2) 未収金及び未収収益	70,915
(3) 貸倒引当金 (△)	311
(4) 貯蔵品	3,324
3 繰延資産	-
負債合計	442,310
1 固定負債	110,729
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	63,285
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	47,444
(7) リース債務	-
2 流動負債	113,952
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	42,850
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,791
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,997
(9) 前受金及び前受収益	34
3 繰延収益	217,629
(1) 長期前受金	404,178
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	186,549
資本合計	459,459
1 資本金	693,999
2 剰余金	-234,540
(1) 資本剰余金	11
(2) 利益剰余金	-234,551
負債・資本合計	901,769
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	尾道市
病院名	尾道市立市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	28,438 ㎡	指定病院の状況	救臨　地　輪
診療科数	24	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	290	75.4	68.7	67.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	290	75.4	68.7	67.9
平均在院日数（一般病床のみ）		15.4	14.3	14.0

設立団体の状況

人口 (人)		138,626
決算規模 (千円)		67,608,917
標準財政規模 (千円)		34,921,555
財政力指数		0.57
経常収支比率 (%)		95.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.6
	将来負担比率 (%)	36.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	87.1
修正医業収支金額 (千円)	6,113,452

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	818,648	1,181,748
資本勘定繰入	256,189	-
計	1,074,837	1,181,748

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	6.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,400,671			
1 経常収益	6,996,135			
(1) 医業収益	6,523,029			
① 入院収益	4,433,857			
② 外来収益	1,495,739			
診療収入計	5,929,596			
③ その他医業収益	593,433			
(うち他会計負担金)	409,577			
(2) 医業外収益	473,106			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	372,171			
(うち長期前受金戻入)	37,320			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	404,536			
(うち他会計繰入金)	400,000			
総費用	7,325,758			
2 経常費用	7,316,544			
(1) 医業費用	7,019,949			
① 職員給与費	4,014,695	61.5	55.9	59.2
② 材料費	1,338,864	20.5	24.0	19.6
(うち薬品費)	618,993	9.5	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	719,231	11.0	11.1	9.2
③ 減価償却費	508,678	7.8	9.2	10.4
④ 経費	1,125,978	17.3	23.2	27.3
(うち委託料)	671,583	10.3	11.2	11.8
⑤ 研究研修費	25,550			
⑥ 資産減耗費	6,184			
(2) 医業外費用	296,595			
(うち支払利息)	45,072	0.7	1.7	1.8
(3) 特別損失	9,214			
損益 経常損益	-320,409			
損益 純損益	74,913			
累積欠損金	521,662			
経常収支比率	95.6		98.0	96.1
医業収支比率	92.9		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	12.0		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	16.0		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	84.9		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	20,947,976
1 固定資産	13,815,242
(1) 有形固定資産	13,558,366
(2) 無形固定資産	1,969
(3) 投資その他の資産	254,907
2 流動資産	7,067,939
(1) 現金及び預金	5,065,741
(2) 未収金及び未収収益	1,956,421
(3) 貸倒引当金 (△)	1,345
(4) 貯蔵品	47,122
3 繰延資産	64,795
負債合計	12,541,046
1 固定負債	8,308,104
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,266,949
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,974,837
(7) リース債務	66,318
2 流動負債	2,646,851
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	549,735
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	829,501
(6) リース債務	7,358
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,200,509
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,586,091
(1) 長期前受金	2,593,337
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,007,246
資本合計	8,406,930
1 資本金	8,399,181
2 剰余金	7,749
(1) 資本剰余金	212,465
(2) 利益剰余金	-204,716
負債・資本合計	20,947,976
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	尾道市
病院名	尾道市公立みつぎ総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,677 ㎡	指定病院の状況	救臨　輪
診療科数	22	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	152	82.9	83.8	85.3
療養	88	94.1	90.4	87.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	240	87.0	86.2	86.0
平均在院日数（一般病床のみ）		19.9	19.0	19.0

設立団体の状況

人口 (人)		138,626
決算規模 (千円)		67,608,917
標準財政規模 (千円)		34,921,555
財政力指数		0.57
経常収支比率 (%)		95.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.6
	将来負担比率 (%)	36.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	88.1
修正医業収支金額 (千円)	4,754,148

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,400,591			
1 経常収益	6,400,148			
(1) 医業収益	5,001,669			
① 入院収益	2,534,172			
② 外来収益	1,164,076			
診療収入計	3,698,248			
③ その他医業収益	1,303,421			
(うち他会計負担金)	247,521			
(2) 医業外収益	1,398,479			
(うち国・都道府県補助金)	422			
(うち他会計補助・負担金)	445,524			
(うち長期前受金戻入)	47,486			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	443			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,468,506			
2 経常費用	6,463,945			
(1) 医業費用	5,394,596			
① 職員給与費	3,638,579	72.7	55.9	59.2
② 材料費	661,129	13.2	24.0	19.6
(うち薬品費)	331,519	6.6	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	309,773	6.2	11.1	9.2
③ 減価償却費	244,053	4.9	9.2	10.4
④ 経費	833,970	16.7	23.2	27.3
(うち委託料)	439,400	8.8	11.2	11.8
⑤ 研究研修費	15,399			
⑥ 資産減耗費	1,466			
(2) 医業外費用	1,069,349			
(うち支払利息)	24,758	0.5	1.7	1.8
(3) 特別損失	4,561			
損益 経常損益	-63,797			
損益 純損益	-67,915			
累積欠損金	221,054			
経常収支比率	99.0		98.0	96.1
医業収支比率	92.7		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	13.9		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	10.8		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	88.3		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	20,947,976
1 固定資産	13,815,242
(1) 有形固定資産	13,558,366
(2) 無形固定資産	1,969
(3) 投資その他の資産	254,907
2 流動資産	7,067,939
(1) 現金及び預金	5,065,741
(2) 未収金及び未収収益	1,956,421
(3) 貸倒引当金 (△)	1,345
(4) 貯蔵品	47,122
3 繰延資産	64,795
負債合計	12,541,046
1 固定負債	8,308,104
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,266,949
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,974,837
(7) リース債務	66,318
2 流動負債	2,646,851
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	549,735
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	829,501
(6) リース債務	7,358
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,200,509
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,586,091
(1) 長期前受金	2,593,337
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,007,246
資本合計	8,406,930
1 資本金	8,399,181
2 剰余金	7,749
(1) 資本剰余金	212,465
(2) 利益剰余金	-204,716
負債・資本合計	20,947,976
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	551,238	693,045
資本勘定繰入	324,082	287,600
計	875,320	980,645

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	6.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	福山市
病院名	福山市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	49,620 ㎡	指定病院の状況	救臨が感　災地　輪
診療科数	27	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	500	87.0	87.4	85.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	0.9	1.7	1.0
計	506	85.9	86.4	84.9
平均在院日数（一般病床のみ）		10.9	11.3	11.4

設立団体の状況

人口 (人)		464,811
決算規模 (千円)		164,878,036
標準財政規模 (千円)		100,779,724
財政力指数		0.82
経常収支比率 (%)		84.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	2.1
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	96.5
修正医業収支金額 (千円)	17,387,982

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	778,908	778,908
資本勘定繰入	504,984	504,984
計	1,283,892	1,283,892

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,002,018			
1 経常収益	19,002,018			
(1) 医業収益	17,713,969			
① 入院収益	12,134,878			
② 外来収益	5,008,186			
診療収入計	17,143,064			
③ その他医業収益	570,905			
(うち他会計負担金)	325,987			
(2) 医業外収益	1,288,049			
(うち国・都道府県補助金)	33,973			
(うち他会計補助・負担金)	452,921			
(うち長期前受金戻入)	594,211			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,991,928			
2 経常費用	18,991,928			
(1) 医業費用	18,024,605			
① 職員給与費	7,141,125	40.3	55.9	50.2
② 材料費	5,948,734	33.6	24.0	27.7
(うち薬品費)	2,690,351	15.2	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,173,391	17.9	11.1	12.9
③ 減価償却費	1,613,705	9.1	9.2	8.3
④ 経費	3,207,037	18.1	23.2	20.7
(うち委託料)	1,169,506	6.6	11.2	11.4
⑤ 研究研修費	89,690			
⑥ 資産減耗費	24,314			
(2) 医業外費用	967,323			
(うち支払利息)	214,736	1.2	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	10,090			
損益 純損益	10,090			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.1		98.0	99.7
医業収支比率	98.3		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.1		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	4.4		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	4.1		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	96.0		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	26,811,908
1 固定資産	13,779,975
(1) 有形固定資産	13,640,469
(2) 無形固定資産	4,680
(3) 投資その他の資産	134,826
2 流動資産	13,031,933
(1) 現金及び預金	10,109,515
(2) 未収金及び未収収益	2,900,926
(3) 貸倒引当金 (△)	47,647
(4) 貯蔵品	50,170
3 繰延資産	-
負債合計	18,509,039
1 固定負債	14,535,843
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,206,409
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,329,434
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,597,496
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	848,412
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	342,314
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,340,091
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,375,700
(1) 長期前受金	11,790,125
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	10,414,425
資本合計	8,302,869
1 資本金	2,263,535
2 剰余金	6,039,334
(1) 資本剰余金	720,550
(2) 利益剰余金	5,318,784
負債・資本合計	26,811,908
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	府中市
病院名	府中市立湯が丘病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	8,765 ㎡	指定病院の状況	臨
診療科数	1	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	308	74.3	74.7	75.0
感染症	-	-	-	-
計	308	74.3	74.7	75.0
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		40,069
決算規模 (千円)		19,507,297
標準財政規模 (千円)		11,694,473
財政力指数		0.47
経常収支比率 (%)		94.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	9.6
	将来負担比率 (%)	72.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	96.1
修正医業収支金額 (千円)	1,179,433

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	86,403	91,927
資本勘定繰入	45,722	45,722
計	132,125	137,649

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	118.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,291,842			
1 経常収益	1,291,842			
(1) 医業収益	1,179,433			
① 入院収益	1,106,979			
② 外来収益	51,483			
診療収入計	1,158,462			
③ その他医業収益	20,971			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	112,409			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	91,927			
(うち長期前受金戻入)	7,855			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,276,402			
2 経常費用	1,276,402			
(1) 医業費用	1,226,846			
① 職員給与費	925,584	78.5	55.9	94.3
② 材料費	53,206	4.5	24.0	8.8
(うち薬品費)	43,562	3.7	12.4	6.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,557	0.8	11.1	1.1
③ 減価償却費	54,911	4.7	9.2	12.6
④ 経費	189,099	16.0	23.2	33.3
(うち委託料)	122,115	10.4	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	1,812			
⑥ 資産減耗費	2,234			
(2) 医業外費用	49,556			
(うち支払利息)	16,664	1.4	1.7	3.4
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	15,440			
損益 純損益	15,440			
累積欠損金	228,039			
経常収支比率	101.2		98.0	100.2
医業収支比率	96.1		88.4	66.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		12.4	33.7
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.5	52.8
他会計繰入金対総収益比率	7.1		12.4	33.4
実質収益対経常費用比率	94.0		85.9	66.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,136,439
1 固定資産	931,197
(1) 有形固定資産	875,970
(2) 無形固定資産	47,450
(3) 投資その他の資産	7,777
2 流動資産	2,205,242
(1) 現金及び預金	1,977,371
(2) 未収金及び未収収益	231,947
(3) 貸倒引当金 (△)	5,246
(4) 貯蔵品	1,076
3 繰延資産	-
負債合計	2,421,749
1 固定負債	1,924,814
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,347,336
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	577,478
(7) リース債務	-
2 流動負債	329,740
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,928
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	53,959
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	109,225
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	167,195
(1) 長期前受金	355,471
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	188,276
資本合計	714,690
1 資本金	1,690,666
2 剰余金	-975,976
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-975,976
負債・資本合計	3,136,439
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	府中市
病院名	想定企業会計

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		40,069
決算規模 (千円)		19,507,297
標準財政規模 (千円)		11,694,473
財政力指数		0.47
経常収支比率 (%)		94.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	9.6
	将来負担比率 (%)	72.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	118.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,691			
1 経常収益	24,691			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	24,691			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,691			
2 経常費用	24,691			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	69.4
② 材料費	-	-	24.0	17.1
(うち薬品費)	-	-	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.8
③ 減価償却費	-	-	9.2	11.6
④ 経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	24,691			
(うち支払利息)	24,691	-	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	1,171,931			
経常収支比率	100.0		98.0	98.0
医業収支比率	-		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	三次市
病院名	市立三次中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,851 ㎡	指定病院の状況	救臨が へ災地 輪
診療科数	21	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	350	80.9	79.4	86.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	350	80.9	79.4	86.2
平均在院日数（一般病床のみ）		14.4	12.7	13.9

設立団体の状況		
人口 (人)		53,615
決算規模 (千円)		39,624,781
標準財政規模 (千円)		22,738,340
財政力指数		0.33
経常収支比率 (%)		95.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	7.5
	将来負担比率 (%)	48.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	97.3
修正医業収支金額 (千円)	7,944,312

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	405,373	375,121
資本勘定繰入	449,431	-
計	854,804	375,121

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,691,009			
1 経常収益	8,690,523			
(1) 医業収益	7,985,532			
① 入院収益	4,878,579			
② 外来収益	2,723,088			
診療収入計	7,601,667			
③ その他医業収益	383,865			
(うち他会計負担金)	41,220			
(2) 医業外収益	704,991			
(うち国・都道府県補助金)	62,493			
(うち他会計補助・負担金)	333,901			
(うち長期前受金戻入)	234,573			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	486			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,604,828			
2 経常費用	8,557,117			
(1) 医業費用	8,166,635			
① 職員給与費	4,145,507	51.9	55.9	56.9
② 材料費	2,225,571	27.9	24.0	24.2
(うち薬品費)	1,362,542	17.1	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	787,386	9.9	11.1	11.7
③ 減価償却費	564,208	7.1	9.2	9.5
④ 経費	1,181,021	14.8	23.2	21.8
(うち委託料)	755,930	9.5	11.2	10.7
⑤ 研究研修費	48,234			
⑥ 資産減耗費	2,094			
(2) 医業外費用	390,482			
(うち支払利息)	110,287	1.4	1.7	1.8
(3) 特別損失	47,711			
損益 経常損益	133,406			
損益 純損益	86,181			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.6		98.0	96.3
医業収支比率	97.8		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.3		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	4.7		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	4.3		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	97.2		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,664,449
1 固定資産	10,269,105
(1) 有形固定資産	6,556,981
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	3,712,124
2 流動資産	4,395,344
(1) 現金及び預金	3,006,843
(2) 未収金及び未収収益	1,364,238
(3) 貸倒引当金 (△)	9,189
(4) 貯蔵品	32,199
3 繰延資産	-
負債合計	8,006,384
1 固定負債	4,620,327
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,967,658
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,646,500
(7) リース債務	6,169
2 流動負債	1,659,915
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	549,645
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	248,142
(6) リース債務	5,488
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	844,723
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,726,142
(1) 長期前受金	3,714,842
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,988,700
資本合計	6,658,065
1 資本金	4,784,176
2 剰余金	1,873,889
(1) 資本剰余金	130,337
(2) 利益剰余金	1,743,552
負債・資本合計	14,664,449
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	庄原市
病院名	庄原市立西城市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	4,099 ㎡	指定病院の状況	救臨　へ　輪
診療科数	9	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	54	81.7	81.0	83.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	81.7	81.0	83.5
平均在院日数（一般病床のみ）		19.7	17.3	18.4

設立団体の状況

人口 (人)		37,000
決算規模 (千円)		30,593,003
標準財政規模 (千円)		18,030,130
財政力指数		0.26
経常収支比率 (%)		97.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	15.1
	将来負担比率 (%)	124.8

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	71.3
修正医業収支金額 (千円)	898,806

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	174,937	190,338
資本勘定繰入	35,306	31,566
計	210,243	221,904

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	79.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,365,165			
1 経常収益	1,365,165			
(1) 医業収益	947,891			
① 入院収益	440,335			
② 外来収益	416,124			
診療収入計	856,459			
③ その他医業収益	91,432			
(うち他会計負担金)	49,085			
(2) 医業外収益	417,274			
(うち国・都道府県補助金)	7,534			
(うち他会計補助・負担金)	141,253			
(うち長期前受金戻入)	15,938			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,303,043			
2 経常費用	1,303,043			
(1) 医業費用	1,261,381			
① 職員給与費	809,701	85.4	55.9	69.4
② 材料費	86,760	9.2	24.0	17.1
(うち薬品費)	49,573	5.2	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,187	3.9	11.1	5.8
③ 減価償却費	52,049	5.5	9.2	11.6
④ 経費	308,928	32.6	23.2	31.2
(うち委託料)	130,265	13.7	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	1,540			
⑥ 資産減耗費	2,403			
(2) 医業外費用	41,662			
(うち支払利息)	8,735	0.9	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	62,122			
損益 純損益	62,122			
累積欠損金	752,128			
経常収支比率	104.8		98.0	98.0
医業収支比率	75.1		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.9		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	20.1		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	13.9		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	90.2		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,383,137
1 固定資産	921,797
(1) 有形固定資産	901,667
(2) 無形固定資産	20,130
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	461,340
(1) 現金及び預金	210,676
(2) 未収金及び未収収益	250,488
(3) 貸倒引当金 (△)	827
(4) 貯蔵品	1,003
3 繰延資産	-
負債合計	659,922
1 固定負債	324,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	324,441
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	135,211
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	55,145
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	52,758
(6) リース債務	72
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,317
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	200,270
(1) 長期前受金	442,473
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	242,203
資本合計	723,215
1 資本金	1,439,381
2 剰余金	-716,166
(1) 資本剰余金	35,962
(2) 利益剰余金	-752,128
負債・資本合計	1,383,137
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	安芸太田町
病院名	安芸太田病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	10,979 ㎡	指定病院の状況	救臨　へ
診療科数	12	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	53	86.2	85.9	79.8
療養	52	79.2	84.1	79.5
結核	-	-	-	-
精神	44	43.3	57.2	69.2
感染症	-	-	-	-
計	149	71.1	76.8	76.5
平均在院日数（一般病床のみ）		19.1	20.1	22.4

設立団体の状況

人口 (人)		6,472
決算規模 (千円)		7,866,678
標準財政規模 (千円)		4,666,602
財政力指数		0.20
経常収支比率 (%)		96.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	9.5
	将来負担比率 (%)	69.1

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	75.7
修正医業収支金額 (千円)	1,429,084

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	380,000	392,000
資本勘定繰入	150,193	80,575
計	530,193	472,575

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,919,658			
１ 経常収益	1,915,489			
（1）医業収益	1,516,746			
① 入院収益	900,259			
② 外来収益	447,814			
診療収入計	1,348,073			
③ その他医業収益	168,673			
（うち他会計負担金）	87,662			
（2）医業外収益	398,743			
（うち国・都道府県補助金）	2,583			
（うち他会計補助・負担金）	304,338			
（うち長期前受金戻入）	77,570			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	4,169			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,963,508			
２ 経常費用	1,957,803			
（1）医業費用	1,888,673			
① 職員給与費	1,160,717	76.5	55.9	59.8
② 材料費	209,910	13.8	24.0	17.7
（うち薬品費）	84,427	5.6	12.4	9.1
（うち薬品費以外の医薬材料費）	99,000	6.5	11.1	8.0
③ 減価償却費	178,548	11.8	9.2	10.4
④ 経費	322,241	21.2	23.2	31.2
（うち委託料）	129,792	8.6	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	4,162			
⑥ 資産減耗費	13,095			
（2）医業外費用	69,130			
（うち支払利息）	8,971	0.6	1.7	1.8
（3）特別損失	5,705			
損益 経常損益	-42,314			
損益 純損益	-43,850			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.8		98.0	96.3
医業収支比率	80.3		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	20.5		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	25.8		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	20.4		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	77.8		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,710,754
１ 固定資産	2,777,980
（1）有形固定資産	2,709,051
（2）無形固定資産	894
（3）投資その他の資産	68,035
２ 流動資産	932,774
（1）現金及び預金	694,405
（2）未収金及び未収収益	223,352
（3）貸倒引当金（△）	97
（4）貯蔵品	13,015
３ 繰延資産	-
負債合計	2,263,833
１ 固定負債	687,172
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	687,172
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
２ 流動負債	296,083
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	129,892
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	68,753
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	95,373
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	1,280,578
（1）長期前受金	1,432,819
（2）長期前受金収益化累計額（△）	152,241
資本合計	1,446,921
１ 資本金	1,334,906
２ 剰余金	112,015
（1）資本剰余金	44,915
（2）利益剰余金	67,100
負債・資本合計	3,710,754
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	北広島町
病院名	北広島町豊平病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,529 ㎡	指定病院の状況	
診療科数	6	看護配置	１３：１
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	44	65.2	58.9	41.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	44	65.2	58.9	41.3
平均在院日数（一般病床のみ）		20.5	23.4	18.8

設立団体の状況

人口 (人)		18,918
決算規模 (千円)		16,815,834
標準財政規模 (千円)		9,611,014
財政力指数		0.36
経常収支比率 (%)		88.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	15.9
	将来負担比率 (%)	94.0

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	0.2
修正医業収支金額 (千円)	680

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	327,900	332,556
資本勘定繰入	36,918	57,235
計	364,818	389,791

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	24689.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	377,358			
1 経常収益	376,787			
(1) 医業収益	680			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	680			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	376,107			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	332,556			
(うち長期前受金戻入)	43,328			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	571			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	391,988			
2 経常費用	391,988			
(1) 医業費用	376,873			
① 職員給与費	-	-	55.9	79.3
② 材料費	-	-	24.0	16.1
(うち薬品費)	-	-	12.4	10.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.0
③ 減価償却費	56,913	8369.6	9.2	13.7
④ 経費	319,960	47052.9	23.2	42.9
(うち委託料)	480	70.6	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	15,115			
(うち支払利息)	13,953	2051.9	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-15,201			
損益 純損益	-14,630			
累積欠損金	167,889			
経常収支比率	96.1		98.0	95.6
医業収支比率	0.2		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	88.3		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	48905.3		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	88.1		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	11.3		85.9	63.7

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	885,460
1 固定資産	855,901
(1) 有形固定資産	840,901
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	15,000
2 流動資産	29,559
(1) 現金及び預金	27,200
(2) 未収金及び未収収益	2,359
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	830,949
1 固定負債	683,866
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	683,866
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	58,872
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,138
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	734
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	88,211
(1) 長期前受金	431,906
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	343,695
資本合計	54,511
1 資本金	82,467
2 剰余金	-27,956
(1) 資本剰余金	139,933
(2) 利益剰余金	-167,889
負債・資本合計	885,460
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	神石高原町
病院名	神石高原町立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	6,406 ㎡	指定病院の状況	救　へ
診療科数	7	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	47	70.2	74.7	76.2
療養	36	85.6	67.2	61.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	83	76.9	70.9	68.7
平均在院日数（一般病床のみ）		23.1	24.0	28.0

設立団体の状況

人口 (人)		9,217
決算規模 (千円)		10,504,246
標準財政規模 (千円)		6,481,249
財政力指数		0.21
経常収支比率 (%)		79.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.7
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	0.4
修正医業収支金額 (千円)	1,383

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	280,019	252,510
資本勘定繰入	33,462	66,923
計	313,481	319,433

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	371,120			
1 経常収益	371,120			
(1) 医業収益	18,656			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	18,656			
(うち他会計負担金)	17,273			
(2) 医業外収益	352,464			
(うち国・都道府県補助金)	3,430			
(うち他会計補助・負担金)	235,237			
(うち長期前受金戻入)	45,894			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	371,110			
2 経常費用	371,110			
(1) 医業費用	371,043			
① 職員給与費	-	-	55.9	69.4
② 材料費	-	-	24.0	17.1
(うち薬品費)	-	-	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.8
③ 減価償却費	71,516	383.3	9.2	11.6
④ 経費	299,274	1604.2	23.2	31.2
(うち委託料)	1,912	10.2	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	253			
(2) 医業外費用	67			
(うち支払利息)	67	0.4	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	10			
損益 純損益	10			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	98.0
医業収支比率	5.0		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	68.0		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	1353.5		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	68.0		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	32.0		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,057,409
1 固定資産	926,447
(1) 有形固定資産	819,059
(2) 無形固定資産	703
(3) 投資その他の資産	106,685
2 流動資産	130,962
(1) 現金及び預金	95,467
(2) 未収金及び未収収益	35,495
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	792,621
1 固定負債	55,914
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	55,914
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	58,647
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,531
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	49,116
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	678,060
(1) 長期前受金	832,923
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	154,863
資本合計	264,788
1 資本金	-
2 剰余金	264,788
(1) 資本剰余金	245,958
(2) 利益剰余金	18,830
負債・資本合計	1,057,409
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	広島県
市町村・組合名	世羅中央病院企業団
病院名	公立世羅中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	15,154 ㎡	指定病院の状況	救 臨 輪
診療科数	18	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	135	102.2	97.6	96.7
療養	20	99.2	91.2	94.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	155	101.8	96.8	96.4
平均在院日数（一般病床のみ）		19.5	18.6	21.0

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	84.6
修正医業収支金額 (千円)	2,589,188

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	288,253	341,907
資本勘定繰入	167,536	167,536
計	455,789	509,443

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	0.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,170,842			
1 経常収益	3,105,487			
(1) 医業収益	2,752,367			
① 入院収益	1,729,869			
② 外来収益	680,316			
診療収入計	2,410,185			
③ その他医業収益	342,182			
(うち他会計負担金)	163,179			
(2) 医業外収益	353,120			
(うち国・都道府県補助金)	743			
(うち他会計補助・負担金)	178,728			
(うち長期前受金戻入)	166,208			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	65,355			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,202,770			
2 経常費用	3,096,111			
(1) 医業費用	3,059,210			
① 職員給与費	1,439,520	52.3	55.9	59.8
② 材料費	537,125	19.5	24.0	17.7
(うち薬品費)	336,853	12.2	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	167,494	6.1	11.1	8.0
③ 減価償却費	281,991	10.2	9.2	10.4
④ 経費	782,599	28.4	23.2	31.2
(うち委託料)	207,134	7.5	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	7,735			
⑥ 資産減耗費	10,240			
(2) 医業外費用	36,901			
(うち支払利息)	20,771	0.8	1.7	1.8
(3) 特別損失	106,659			
損益 経常損益	9,376			
損益 純損益	-31,928			
累積欠損金	17,919			
経常収支比率	100.3		98.0	96.3
医業収支比率	90.0		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	10.8		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	89.3		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	5,288,691
1 固定資産	3,321,860
(1) 有形固定資産	3,287,989
(2) 無形固定資産	13,171
(3) 投資その他の資産	20,700
2 流動資産	1,966,831
(1) 現金及び預金	1,558,033
(2) 未収金及び未収収益	386,001
(3) 貸倒引当金 (△)	457
(4) 貯蔵品	22,004
3 繰延資産	-
負債合計	2,766,759
1 固定負債	1,412,607
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,040,316
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	353,391
(7) リース債務	18,900
2 流動負債	390,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	116,271
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	96,473
(6) リース債務	4,200
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	163,694
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	963,783
(1) 長期前受金	2,097,571
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,133,788
資本合計	2,521,932
1 資本金	2,477,048
2 剰余金	44,884
(1) 資本剰余金	56,303
(2) 利益剰余金	-11,419
負債・資本合計	5,288,691
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考